

関東・東北豪雨による水害復興特別委員会報告書

報告書の要旨は次のとおりです。

【総務部門】

①防災訓練の実施

防災訓練が市全体で実施できるよう、自主防災組織の立ち上げの支援及び育成を積極的に推進する。

②複合施設も兼ねた大規模避難施設の計画策定

地震や原発事故なども想定した大規模避難施設を早期に計画する。

【文教厚生部門】

①当市の人口増に繋がる若い世代が定住しやすい環境づくり

当市の実情にあった特色ある実施可能な施策を早期に進める。

②災害に強い助け合いしやすい環境づくり

地域通貨等のシステム導入や自主防災組織が全地区に広がるような具体的な援助方法を検討し、市と自主防災組織が連携すること、市民の防災意識の向上を図る。

③自然と共存しやすいまちづくり

川を生かすこと、そしてペットと暮らしやすい環境や動物と触れ合えるような環境づくりのため、公共施設の有効利用や河川公園の整備等、実施可能な施策の検討を早期に進める。

【建設経済部門】

①都市計画の見直し

アグリサイエンスバレー構想の実現に併せ、地元農作物のブランド化を目標にした

農地の集積を行う。工業団地の拡大・拡充を早期に計画し、地元雇用の拡大、税収増を図る。商店街の隆盛を目標にした商業地の集積やあり方を検討する。

②商工業の事業者関係への補助金確保及び拡充

商工業の事業者に対する水害被害の支援策を早期に検討して「復興計画」や「常総市まち・ひと・しごと創生」に合わせた施策を推進する。

③IC周辺整備事業（アグリサイエンスバレー構想）の早期実現

施策については、当市の復興をアピールでき、全国に誇れるようなものにする。以上、当委員会のテーマである「常総再興！みんなが住みたいまちづくり」のもと、市独自の政策を早期に実現していただきたい。



市長に報告書を提出(9月23日)

議長のひとこと

水害から1年が過ぎ、今常総市には全国各地から議員をはじめとする行政視察が数多く来られる。

日夜復旧復興に、今後の災害対策に対応する関係各位に頭の下がる思いである。

二度と繰り返したくない災害。しかし、全国を見れば災害は後を絶たない。

災害に強い常総市にならなくてはならない。



常総市議会議長 風野芳之

11月定例会議日程(予定)

| | |
|-----------|-------------------------|
| 11月30日(水) | 第14回会議(本会議) |
| 12月6日(火) | 第15回会議(一般質問) |
| 12月7日(水) | 第16回会議(一般質問) |
| 12月8日(木) | 第17回会議(一般質問) |
| 12月9日(金) | 第18回会議(一般質問・議案質疑・委員会付託) |
| 12月12日(月) | 予算特別委員会 |
| 12月13日(火) | 常任委員会(分科会) |
| 12月14日(水) | 常任委員会(分科会) |
| 12月16日(金) | 予算特別委員会 |
| 〃 | 第19回会議(本会議) |

※正式な日程は11月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。